
光と闇の紙一重は

祐介

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

光と闇の紙一重は

【Nコード】

N94170

【作者名】

祐介

【あらすじ】

闇とは決して悪ではない。光とは決して善ではない。＜この前書いた『光と闇の中の』の、感想であった台詞を使ってみました＞

” 光と闇 ”

それは、

表裏一体の存在

『闇』とは決して

『悪』ではないかもしれない

闇は全てを包み込む

これは悪い意味ではなく、

いい意味でとってみよう

それはつまり、

すべてのものを受け入れる、

そうとらえられるのではないだろうか？

< 光 >

これは決して『善』ではないかもしれない

光は全てを照らし出す

つまり、

どんなことをも映し出す

ものをはつきりとさせること

それは同時に、

悪いところをも映し出すということ

一見いいことにも思えるけど

” 考えてみよう ”

光ばかりの世界を

テレビのニュースで、

『逮捕』『殺人』

そんなものがひっきりなしに流れるのを

けっしていい気持ちはしないだろう

” 考えてみよう ”

闇が無い世界を

一日中日が照り、

全てのものを照らす

全てより体力を奪い取っていく

” 夜も無い ”

安心

安寧

休憩

休めるためのものが何も揃わない

周りはきつと音でいっぱいだろう

そんな中で休むことなどできない

（後書き）

でもまだオレはどんなに辛い
狭くて苦しい道でも

闇も無い世界を望むと思う。

たとえそこに

休むための場所が無くても。

醜い場所を

現実を

知るよりも

辛くて苦しい道を進もうと思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9417o/>

光と闇の紙一重は

2011年1月3日18時32分発行